

◎今回蒔いた種（夏に収穫する野菜たち）

- ・じゃがいも
- ・にんじん
- ・ごぼう
- ・小ネギ
- ・九条ネギ
- ・青紫蘇
- ・赤紫蘇
- ・アスパラ
- ・玉ねぎ（ネギ部分を収穫用）

じゃがいもは種芋、
玉ねぎは芽が出て
しまった球を使用。



※野菜の種は自家採種できるように、
出来るだけ固定種・無農薬のものを選ぶ。

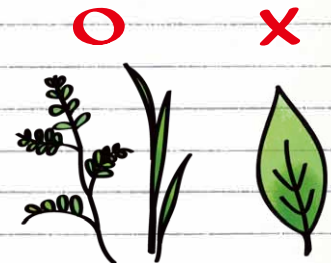
↑今回はこの種を蒔きました

はじめに、畝のどこに何を植えるか計画をたて配置を決める。

- ・湿気を好まないものは、日当たりがよく水はけの良い場所
- ・少しずつ収穫するものは、取りやすい場所 など

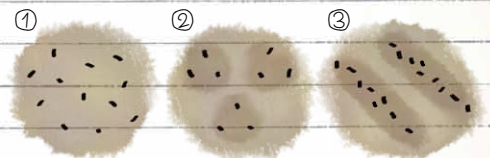
種蒔きのしかたー基本編

- ①表面の土を薄く剥ぐ。（雑草の種を除くため）
- ②剥いだ部分を手のひらや平鍬等で軽く抑えて平らにする
- ③種を蒔く。【種の蒔き方】参照
- ④種が隠れる程度（2～5mm）を目安に、ふるいにかけてながら（小石等を避ける為）土をかける。
※雑草の種が混ざっていない（表面の土ではない）土を使うこと
- ⑤上からかけた土を手のひら等で軽く抑える。
- ⑥乾燥を防ぐため、青草（無い場合は枯草でもよい）をかける。
ポイント：青草の場合、後に嵩が減り発芽しやすい
葉は小さく細いものがよい。
大きいと雨の際に土に張り付き、発芽しにくくなる。
- ⑦補い（米ぬかと油かすを1：1で混ぜたものを撒く）をする。 ※やせた土地など必要な場合のみ
ポイント：種蒔き後に米ぬか&油かすを撒く場合は、発芽障害を避けるために種の上は避け、
種を蒔いたまわりに振り撒く。



【種の蒔き方】

- ①バラ蒔き……種があまり密にならないようにパラパラと蒔く。
- ②点蒔き……数粒ずつ蒔く。（後々の間引きがしやすくなる）
- ③条（すじ）蒔き……鎌の背などで条をひき、一列に蒔く。



（種を指でつまんで軽くねじりながら蒔くと、種と種とに間が出来やすい）

ポイント：雑草が生えている場合、刈らずにそのまま植えて良い。

しかし、草の種類（これから成長していく草）によっては刈った方がよい。